

博士前期課程（修士） / 助産看護学領域 / 助産看護学分野 科目コード：280005 助産実践実習Ⅱ（ハイリスク・継続）					
担当教員	米田 昌代、瀨 耕子、曾山 小織、河合美佳、野沢ゆり乃				
実務経験					
開講年次	2年次前期	単位数	2	授業形態	実習
必修・選択	選択	時間数	90		
Keywords	ハイリスク妊産褥婦、ハイリスク児、緊急時の対応、母体搬送、チーム医療、多職種・地域との連携、継続事例、M F I C U、N I C U、G C U				
学習目的・目標	1. ハイリスク状態にある母子を身体的・心理的・社会的側面から捉え、異常状態を回復し正常な状態を促進させるケアを実践できる。 2. 起こりうる異常・緊急状態とその時にとるべき行動を想定し、母子やその家族へのケアを実践できる。 3. ハイリスクな対象を医療チームの一員として継続的・総合的に捉えてケア・支援し、多職種や地域との連携・協働および助産師としての役割・責務について説明できる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
	ハイリスク妊産婦実習 ＊ハイリスク妊産婦(例：切迫流早産や妊娠高血圧症候群等)のケアを実施する。 ＊緊急時の場面で（例：母体搬送、救急蘇生や救急時（異常出血、新生児の蘇生等）医療チームの一員として行動する。 ＊異常分娩（例：帝王切開、吸引分娩、鉗子分娩、多胎・骨盤位分娩）におけるケアを実施する。 ＊異常新生児の出産等の場面で、とるべき行動を考えて実習する。 NICU・GCU実習 ＊対象児の身体的状態と治療状況について捉え、ハイリスク児とその家族へのケアを実施する。 ハイリスク継続実習 ＊ハイリスク妊婦を継続事例として1例受け持ち、妊婦健康診査を実施する。 ＊継続事例のチームカンファレンスにチームの一員として参加する。 ＊継続事例の入院時・分娩時のケアを実施する。 ＊継続事例の産後のケアを実施する。 ＊詳細は実習要項参照			実習	米田 瀨 曾山 河合 野沢
教科書	各種講義で使用したテキスト				
参考図書等	随時紹介する				
評価指標	実習評価表に準ず				
関連科目	助産学概論、助産診断・技術特論演習Ⅰ（妊娠期）、助産診断・技術特論演習Ⅱ（分娩期）、助産診断・技術特論演習Ⅲ（産褥期・新生児期・乳幼児期）、助産診断・技術特論演習Ⅳ（ハイリスク）、地域母子保健特論				
教員から学生へのメッセージ	ハイリスクな対象への助産ケア提供場面を見学するとともに、受け持ち事例を通して学習します。				